

これからの社会、これからの高校生活
—高校生活で何を学び、どう過ごすべきか—

群馬経済同友会会員
林 明夫
(www.kairin.co.jp)

あとでお読みになりやすいように、Q and Aの形で本日の出張授業資料を作りました。御活用下さい。

Q1：好きな言葉はありますか。自己紹介の代わりに教えてください。

A：はい、たくさんあります。

(1)「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな)

*足利市立山辺中学校のクラス担任 岡田忠治先生から教わりました。

(2)「練習で泣いて、試合で笑え」

*足利市立山辺中学校の柔道部監督 椎名弘先生から教わりました。

(3)「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心なものごとに取り組もう)

*栃木県立足利高等学校の10kmマラソン大会の合い言葉でした。

(4)「法律を学ぶ者は最悪の場合をいつも考えること」

*慶應義塾大学法学部法律学科の峯村光郎先生から教わりました。

(5)「注意一秒、ケガ一生」

*慶應義塾大学法学部法律学科の宮沢浩一先生から教わりました。

(6)「練習は不可能を可能にする」

*慶應義塾塾長の小泉信三先生から教わりました。

— スポーツをして得られる「三つの宝」 —

①「練習は不可能を可能にする」

②「フェアプレー」(いやしいことはしない)

③「よき友」 (小泉信三先生)

Q2：今、どのような仕事や活動をしていますか。

A：(1)開倫塾 塾長(株式会社開倫塾代表取締役社長)

*校舎数60校舎、塾生数約7000名の小・中・高校生対象の学習塾 (サービス産業)

(2)マニー株式会社 顧問、元社外取締役

*手術用縫合針製造。本社宇都宮、現地法人はハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン (製造業)

(3)特別養護老人ホーム清明苑 理事

*足利市にある介護施設 (医療、介護、福祉)

(4)宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

(5)学校法人有朋学園 有朋高等学院 理事長 (福島市)

(6)CRTラジオ栃木放送「開倫塾の時間」毎週土曜日午前9:15～25放送担当、この3月で27年目に入ります。

(7)公益社団法人 経済同友会(東京)幹事、サービス産業活性化プロジェクトチーム 副委員長

Q 3 : これからの社会は、どのような社会だと考えますか。

A : 私は、次の3つの特徴がある社会だと考えます。

- (1) 「知識基盤型社会」 * 知識が基盤となっている社会
- (2) 「グローバル社会」 * 人やもの、サービス、お金が国境を越えてどんどん交わり合う社会
- (3) 「課題山積社会」 * 解決しなければならない課題が山のように積まれている社会
 - ①人口爆発 (世界の人口はこれから20億人以上増加)
 - ②新興諸国の台頭 (一例はBRICS…ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ)
 - ③地球温暖化
 - ④欧米にも経済危機が

Q 4 : 日本の社会の課題は何ですか。

- A : (1) 「超少子化」、「超高齢化」
(2) 「長期間の消費停滞、物価下落(デフレ)」
(3) 「超円高」、「製造業の海外移転」
(4) 「国・地方の膨大な債務(借金)」
(5) 「3.11 東日本大震災・大津波、原発事故、エネルギー問題」

Q 5 : 仕事とは何ですか。企業・非営利企業とは何ですか。

- A : (1) 「顧客のお役に立つこと」、「顧客のお役に立つことで、社会のお役に立つこと」だと考えます。
(2) 「社会のお役に立つとは、社会的な課題の解決に貢献することでお役に立つこと」だと考えます。
(3) 「企業」や「非営利企業」は最終的には、「顧客のお役に立つことで、社会の課題を解決し、社会のお役に立つ」という「社会的使命(ミッション)」をもつと考えます。

Q 6 : 何のために働くとお考えですか。

- A : (1) お客様のお役に立つこと。お客様のお役に立つことで、社会のお役に立つこと。
(2) 生活できるだけの収入を得ること。
(3) 自己実現のため。よく生きるため。

Q 7 : これからの社会で求められる能力とは何ですか。

- A : (1) 「知識・情報・技術を用いる能力」 * 「知識基盤型社会」に対応します。
(2) 「多様な集団で交流する能力」 * 「グローバル社会」に対応します。
(3) 「自律的に活動する能力」 * 「課題山積社会」に対応します。

Q 8 : これからの社会で生き抜くために、どのような高校生活を送ったらよいと考えますか。

- A : (1) 高校のすべての教科をじっくりと「学習」すること。
・高校で学習するすべての教科は、高校卒業後もすべて役に立ちます。
・「入試」だけでなく、「就活」にも役に立ちます。
・すべての学習の基本の基本は、小学校・中学校・高校での学習です。
・中学校や高校の教科書、教材は一生処分しないこと。一生にわたって繰り返し学習すること。
(2) 高校での教科以外の教育活動(学校行事、部活動 etc)も積極的に活動すること。
・すべて役に立ちます。
(3) 「学習の仕方」を身に付けること。
① 「学」ぶ…うんなるほどと「理解」すること。
・「わからない」語句は「辞書」で調べ、意味を覚えること。「言葉は力」

- ・必要なことは「ノート」を取り続けること。
 - ・何がわからないかをはっきりさせて授業に臨むために、「予習」をすること。
 - ②「習」う…「理解」したことを正確に身に付けること。
 - ・「音読」練習、「書き取り」練習、「計算・問題」練習を!!
 - ③「応用」力を…「過去問」を何回もやる。「間違いノート」を作る。「まとめノート」を作る。
- * 高校卒業後もたくさんの科目を学び、たくさんの試験(テスト)を受けるので、体系的知識をしっかりと身に付けるための「学習方法」を高校時代にきちんと身に付けることが大切です。

Q 9 : ノートを取ることは大切なのですか。

- A : (1) ノートを取る能力を身に付けることは、社会に出てからも大切です。
- (2) 「仕事はメモで身に付ける」とさえ言えます。
- (3) 「仕事に教科書はない」ので、必要なことはノートにメモし続けて、自分なりの「ノート」、できれば「BOOK」を作ることが大切です。
- * イギリスではノートのことをブック(BOOK)と言うそうです。

Q 10 : 新聞を読むと、どのような能力が身に付くのですか。

- A : (1) 「自分で考える力」、「批判的思考(critical thinking クリティカル・シンキング)能力」が身に付くと考えます。
- (2) 新聞は社会の番犬(Watch dog ワッチ・ドッグ)。社会の問題点を指摘し、人々に社会の課題を考えるきっかけを提供することが新聞(記者)の使命と考えます。
- (3) 1 つの新聞だけでなく複数の新聞を読むこと、できれば外国の新聞も読むことをお勧めします。
- * TOEIC(トイーック)に挑戦するには、英語検定の 2 級を取得した後に英字新聞を毎日 1 時間以上読み続けることが有効です。
- (4) 新聞は仕事や社会的な活動に役に立ちます。世の中の動きを知った上で、社会の問題・課題を解決するのが仕事だからです。仕事をする上で新聞は欠かせません。
- (5) 「スクラップ・ブック」を作りましょう。

Q 11 : 読書をする、どのような能力が身に付くのですか。

- A : (1) 「読解力」(文を読み解く力)が身に付くと考えます。「読む力」は、すべての学力の基本です。
- (2) 「思慮深さ」、深くものごとを考え、自らを振り返る力、自省する力が身に付くと私は考えます。
- (3) 教科書や授業中に先生が紹介して下さる本、図書館にある本はお勧めです。
- (4) 「書き抜き読書ノート」を一冊作り、気に入った文章を書き抜いて、生涯にわたって何回も読み返してみましよう。
- (5) 学校の図書室、公立の図書館、大学などの図書館を大いに活用しましょう。書店にも時々行き、本を手にとって見てみましょう。
- (6) 文庫本(岩波文庫、新潮文庫など)や新書本(岩波新書、ちくま新書など)を月に 1 ~ 2 冊ずつ読んでみましょう。
- (7) 「古典」は人類の宝物。高校生は、日本や中国、世界の「古典」にも挑戦しましょう。
- ・ 何十年、何百年、何千年も前の作者との対話を楽しみましょう。
- (8) 読書は仕事にも役に立ちます。必要な情報の多くは本や文献で取れるからです。読解力が身に付いていないと、読んでわからない。読んでわからなければ、仕事にならないことは数多くあります。

Q12：ITや英語の話がなかなか出てきませんね。

A：(1)ワードやエクセルのスキルは仕事に必要です。

・数学(特に統計・確率)の学習もしっかりと行って下さい。

(2)英語もどんな仕事にも欠かせません。

・高校の学習をしっかりとした上で、英検3級、準2級、2級にも挑戦して下さい。

(3)ITと英語は社会に出てからも学習し続けて下さい。英語以外の外国語もどんどん学習して下さい。(NHKのラジオ講座がお勧めです)

(4)メールやi-podもITですが、やりすぎないようにご注意下さい。「注意一秒、ケガ一生」です。

Q13：社会の基本は何ですか。

A：(1)そうは言うものの、一番大切なのは健康です。

・身体健康、心の健康

(2)社会の基本は「自己責任」、「自助努力」、「自分の未来は自分で切り開く」、「あきらめたらおしまい」です。

(3)「社会のルールを知り、ルールの中でプレイをする」、「ルール違反をしない」、「約束を守る」ことも求められます。

(4)「法律」は社会のルールの中で最も大切なものです。何が法律で規定されているかを「理解」することも大切です。

Q14：最後に一言どうぞ。

A：最後に、私の好きな言葉をもう少しお伝えします。

(1)①「一生勉強、一生青春」相田みつを先生

②「教育ある人とは(一生)勉強し続ける人」ドラッカー先生

③「会った人は皆友達」、「よいことをして忘れること」石川洋先生

(2)中学校・高校時代の友達是一生の友達、先生は一生の恩師です。少しずつでも友情を育みましょう。

(3)家族との関係もしっかりと築きましょう。

・その時に大切なのは「元気なあいさつ」と「言葉づかい」、特に「ものの言い方」です。

感謝の心をもって毎日を過ごしましょう。

御清聴を感謝します。

以上